



2学期の反省を今後の生活や学習に生かしましょう

12月23日（金）に2学期の終業式を行いました。2学期は、新型コロナウイルス感染症対策のため、この2年間実施できていなかった行事の一部が再開でき始めた学期でした。歌声発表会や職場体験学習、地域インタビューなど、いずれも地域のご理解とご協力のおかげで3年ぶりに実施できた行事でした。その中で、「できること」を見つけて前向きに取り組んでいた皆さんの姿が印象的な学期でした。また、2学期の皆さんの取組の中で成果が上がったものが賞状の形で数多く学校に届きましたが、「伝達表彰」の中で紹介できたのはその三分の一ほどでした。全体では紹介しきれなかった賞状は各教室で授与されました。

終業式の中で学年の代表生徒が次のような反省を発表してくれましたので、一部抜粋で紹介します。

2学期の間学年として成長したと思うことは、時間前行動ができるようになったことです。学年集会の時など、全クラスが素早く集まり、チャイムが鳴るのを待つこともありました。2分前着席もよく取り組んでいます。これは皆が意識して周りとそろえるようになったからだと思います。地域インタビューでは、事業所への電話やメモなど、担当を班で決めて、一生懸命取り組むことができました。特に言葉づかいやあいさつに気をつけてインタビューを行えました。また、授業中の話を聞く態度も、学級委員が中心となり、帰りの会で反省をして改善することができました。3学期には、今できていないことに取り組むと同時に、今までできていることもおろそかにしないようにしたいです。

1年代表生徒

僕が2学期に感じたことは二つあります。一つ目は中だるみが目立っていたことです。2年生になってから私語が増え、何回も注意されることがあったり、提出物がきちんと出せていなかったりしているからです。（中略）二つ目はチャレンジワークを通して学んだことを日常生活であまり生かしていないことです。チャレンジワークに行く前は言葉づかいに気をつけていたり、時間を意識して行動したり、注意深く活動したりしていましたが、チャレンジワークが終わった今、意識しているように見えません。（中略）2年生の3学期は3年生の0学期です。よい3年生を迎えられるよう、学級委員である僕も声掛けなどを進んで行っていかないといけないと反省しています。皆さんも今の一人一人の行動は3年生0学期にふさわしいものなのか考えて、「今、この学年、ええ感じやねん！」と自信をもって言えるように頑張りましょう。

2年代表生徒

2学期には、歌声発表会や球技大会など、3年生にとって中学校生活最後と言われる行事が次々終わっていききました。10月には任命式があり、各委員会の中心が3年生から2年生へと変化しています。後期学級委員会の活動としては、授業開始時の立礼を継続してきました。また、集団面接の練習をしていただいたり、それぞれが面接ガイドをつくるなど、受験に向けた雰囲気づくりが進んでいると思います。学習面では期末テストが終わり、その結果に一喜一憂している人が多く見られました。3学期は入試の本番、そして受験が待っています。これまでにつくってきた雰囲気を保ち、落ち着いて生活しましょう。

3年代表生徒

災害ボランティア研修に参加しました

12月26日（月）に玉島ロータリークラブ主催の「中学生災害ボランティア研修」が開催され、玉島西中学校から野球部1・2年生14名が参加しました。この研修は2011年の東日本大震災で中学生が地域で活躍したことを受けて、中学生を対象に2014年から始まった研修です。コロナ禍で2年間中止となっていましたが、今年3年ぶりに再開しました。玉島・船穂地区中学生約30名が消防署職員の方の指導を受けて、救命講習（心肺蘇生法・AEDの使い方などの実技指導）を受けたり災害時に役立つお話を聞いたりして、万が一に備えた知識と技術を身につけました。最後に「普通救命講習I受講修了証」を授与されました。

